

### 地域とともに歩む



株式会社大垣共立銀行(大垣市)より、魅力あふれる地域づくり事業に対し、企業版ふるさと納税制度を活用して100万円とスーベニアプレートを送付いただきました。

5月12日(火)に五藤義徳取締役常務執行役員が川地憲元町長を訪問し、「私たち銀行は、地域なくして存在することはあり得ません。普段から地域のためになにができるかと話し合っています。今後も地域のために自分たちができようことを考え、開拓しながら、地域を活性化していくために力添えしていきたいです」と送付に込められた思いを話しました。

いただいた寄附金は、ネクスト100プロジェクト事業において活用し、地域の活性化や地域産業の発展に向けて取り組んでいきます。

### スポーツをとおして学ぶ“友情と協力”



4月26日(日)に(公財)町スポーツ連盟および町スポーツ少年団の主催で、養老町スポーツ少年団結団式が開催されました。町内すべてのスポーツ少年団が参加し、新年度の活動に向け、団員、指導者、保護者が一体となって目標達成に向けて励むことを誓い、団員のモチベーションを高めるとともにスポーツ少年団の活動を地域に根付いたものとしていく機会としました。式では、スポーツ少年団活動における決意を込め、5人の代表者により誓いの言葉が読み上げられました。

結団式の後は、三世代スポーツ交流会が開催され、モルック、ペタンク、バルシューレの体験をとおして様々な世代の交流を図り、親睦を深めました。

### ご長寿おめでとうございます



杉野明さん(直江)が100歳の誕生日を迎えられ、4月16日(木)に川地憲元町長から長寿のお祝い状とお祝い金が贈呈されました。

杉野さんは、かつて教員として教壇に立ち、子どもたちに寄り添った指導や人材育成に尽力してきました。現在は食欲もあり、着替えなどは自分で行ってみえるとのことでした。普段はテレビを見るなどして穏やかに過ごしているそうです。この日も家族に囲まれてお祝いされ、元気に会話を楽しんでいました。

### すぐそこに見えた日本一



茨城県で開催された文部科学大臣杯第67回全国選抜少年剣道大会において、第3位に入賞した志道館学園の加藤優志郎選手(写真中央)と竹林裕翔選手(写真左)が、その報告をするために4月30日(木)に川地憲元町長を訪問しました。

加藤選手は「優勝がすぐそこに見えたからこそ悔しい気持ちはありますが、全国大会で3位に入賞することができたのは日頃から支えてくれている周りの人たちのおかげだと感謝しています」と素直な気持ちを話し、竹林選手は「先輩たちと一緒に戦う最後の大会だったので、なんとか勝ちたいという気持ちで臨みましたが、3位という結果で悔しいです。先輩たちの記録を超えられるように今後も稽古に励みたいです」とこれからの目標を話しました。